

検討する「地域内交通」とは??

市内には、鉄道・路線バス・タクシー・コミュニティ交通・予約型乗合タクシーなど、さまざまな交通手段があります。これらは単独ですべての地域・移動ニーズに対応しているのではなく、それぞれの交通モードの特性を活かし、移動する距離や時間帯、目的、人数などに応じた役割分担をしています。

岡崎市の交通ネットワークを木になぞらえると、「幹」の交通は鉄道、「枝」の交通は路線バス、「葉」の交通はタクシー・コミュニティ交通・予約型乗合タクシーなどとなります。

「葉」の交通は、地域住民の最初の移動となる交通手段として、地域住民の豊かな暮らしや地域の社会経済活動に不可欠であり、地域のコミュニティによって支えられます。

本手引を活用して、皆さんが検討する「地域内交通」は、「葉」の交通として既存の公共交通を補完するものです。

このような交通手段ごとの役割分担を意識して、地域のニーズに合い、導入後も継続的に利用される地域内交通の導入に向けた検討を進めましょう。



「勉強会」と「協議会」って??

この取組を行うにあたって「勉強会」の開催をお願いしています。

「地域内交通の検討を始めたい!」と思ったら地域の代表者(町総代など)を通じて岡崎市にご連絡ください。

勉強会	協議会
<p>まずはこちらから</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の考え方や地域の課題について意識を共有し、地域の特性を把握します 地域の皆さんからのご相談に応じて、岡崎市も参加します 	<p>運行のための検討・協議の場</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内交通の実証運行や本格運行に向けた、具体的な内容について検討・協議をします 地域の皆さんが継続的に開催し、岡崎市や交通事業者も参加します。

地域主体による交通手段の拡充の手引〔概要版〕

はじめに

地域コミュニティの維持・活性化のためには、地域の交通手段の確保・維持が必要です。

そこで、本市では、令和4年3月に「岡崎市地域公共交通計画」を策定し、地域主体による交通手段の拡充を進めています。そして、地域の移動ニーズに対応した交通体系を構築し、多様な交通手段を地域が選択する取組を後押しするため、この手引を作成しました。



買物や通院など、日々の生活を送る上で、移動に困っていることはありませんか?

この手引は、地域の皆さんが地域の交通手段について、具体的な検討・導入・運営を行う際に活用していただくことを目的としています。

地域にあった交通手段の実現には手間も時間もかかりますが、地域の積極的な取組を全力で応援します! ぜひ、一度目を通していただき、地域の皆さんで話し合ってみてください。

なぜ地域が主体となって検討するの??

地域の皆さんが利用しやすい交通手段を導入するためには、地域のことを知ることが大切です。地域の課題を共有し、移動に関する困りごとをどうやって解消するか、地域のことをよく知る皆さんが主体となって検討することで、地域の移動ニーズに合った便利な交通手段となることが期待されます。

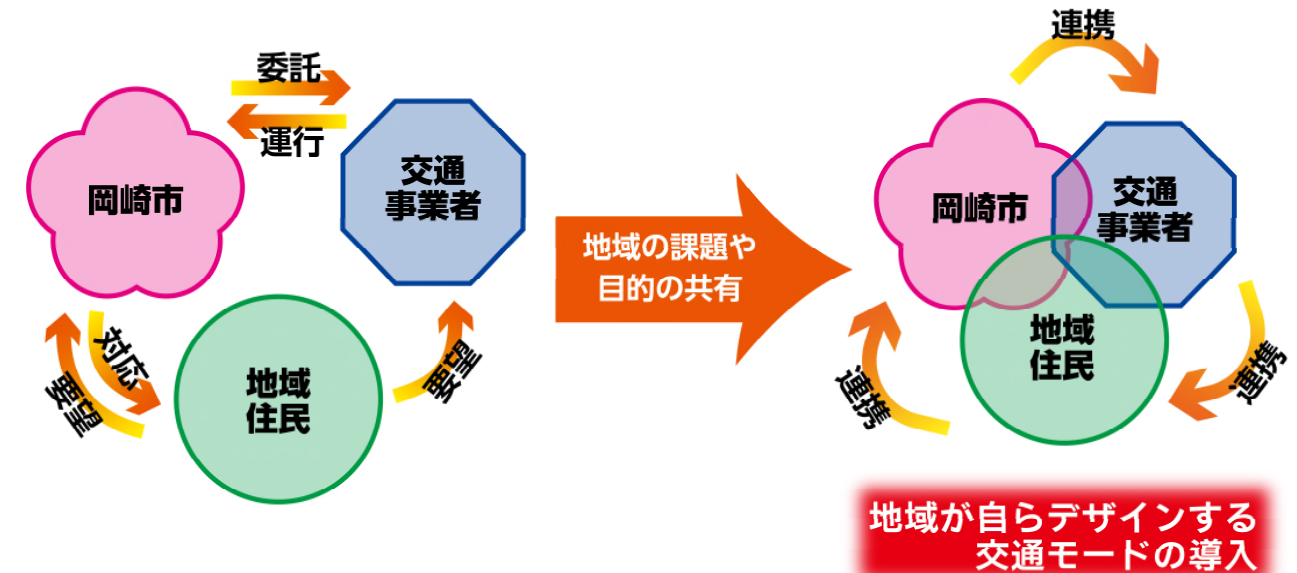


検討を進める中で出てくる難しいこと・専門的なことについては、岡崎市や交通事業者が伴走者としてサポートします。

地域住民 岡崎市 交通事業者

目指す方向性のイメージ

少子高齢化や公共交通利用者数の減少、不採算路線への補填費用の拡大、運転手不足などもあり、交通手段を確保・維持していくことが難しくなっています。今後、持続可能な交通手段の確保・維持のため、既存の公共交通の活用や新しい交通手段の導入を図る際には、「地域住民」・「交通事業者」・「岡崎市」が役割を分担・連携して取り組むことが重要となります。



地域が自らデザインする交通モードの導入

地域主体による交通手段の拡充に向けた検討の流れ・役割分担



仲間づくりについて

地域内交通は、個人の移動ではなく、ある程度まとまった需要に対して、サービスを提供することを基本とします。そのため、日常生活の移動に困っている人の声を聞いたなら地域で共有し、同じように考えている方がいるか話し合っ、一緒に交通を考える仲間を集めましょう。

勉強会で学ぶこと

- ✓ そもそも「交通」って？
- ✓ 交通に係るコストについて
- ✓ 岡崎市の交通施策、方針について
- ✓ 全国的な公共交通に関する動き、事例紹介
- ✓ 地域特性、移動ニーズ、地域課題等の把握 …など

ニーズの見極め

「あったら便利」「5年後・10年後に必要」といった未確定のニーズではなく、「日常生活の移動に困っている」「運行したら利用する」といった、現在の必要性が高いニーズを意識しましょう。

交通事業者

- ・ 事業許可申請
- ・ 安全な運行の実施
- ・ 運行結果のデータ報告
- ・ 運行内容の見直し提案

本格運行に向けた基準の設定(運行の見直し等を判断する基準の目安)

実証運行の際、持続可能な移動手段として本格運行へ移行するか判断するための基準を、右の目安をもとに、地域特性に応じて設定します。この基準は、本格運行後も、運行を継続するかどうか検討する目安とします。

定路線運行の場合	(例)1 往復2人以上
区域運行の場合	(例)1 乗車1.3人以上

※算定中です